



みんなが幸せに暮らす 未来のしきしまのために

～未来に向けた構造改革のための提言～

2023年12月

敷島自治区 未来への構造改革プロジェクト

しきしま♥ときめきプラン2020 未来への構造改革プロジェクト

■ 背景

人口減少・超高齢社会は避けて通れず、人口規模や構成に合った地域行事や組織、集落の再編が必要となる。また、移住者の増加により多様な価値観を認め合う地域共生社会のあり方について研究が必要である。

■ 概要

自治区役員を中心に、有識者、研究者などの助言を得ながら、新たな時代の地域経営について方向性を示す。改革は、先送りせず、できることから試行、実践し、先進モデルづくりをめざす。



2023.4.1 しきしまの家オープン式

提言に向けて行った調査・会議

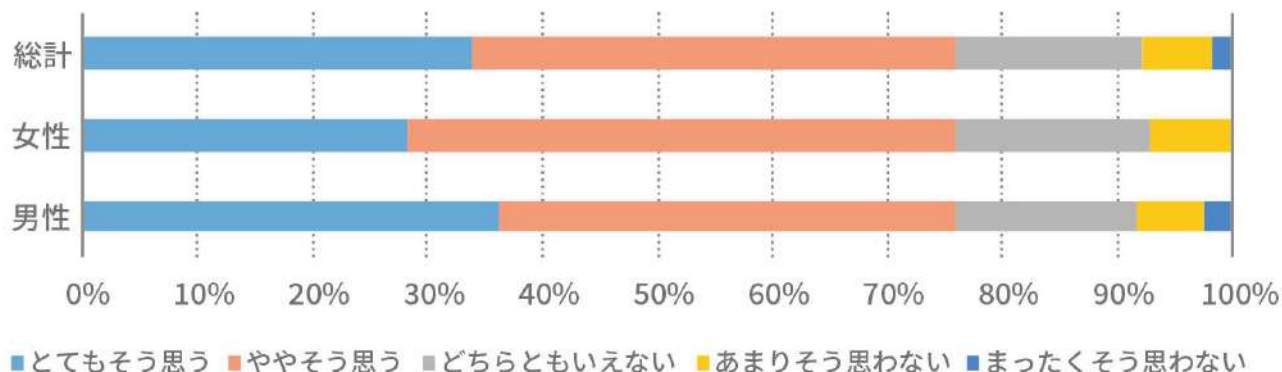
- プロジェクト会議 2021～2023年度 15回
- 「行事・会議実態調査」2022年1月15日～2月28日
- 「持続的なコミュニティづくりのためのアンケート（全世帯）」および「あなたの親しい人と健康状態に関する調査（65歳以上）」
2022年8月13日～9月17日

A 行催事・会議、役職のあり方

抜粋

1-1

行催事・会議は、人口規模などに応じスリム化、統廃合の方向での改善が必要だが、地域の存続に関わる重要な行催事・会議は、続けていくための方策を検討することも大切である。



行催事・会議のスリム化や統廃合を75%以上が求めており、負担軽減が課題である。

未来のしきしまの姿

未来のしきしまでは、多様な価値観や働き方を認め合い、しきしまと相互利益でつながる都市住民（関係人口）と共に住民同士が支え合う自立した地域自治が、法人化された「しきしまの家」を軸に営まれている。そして、さらに進展する情報や科学技術を駆使しながら、お年寄りから子どもまでが、それぞれの能力に応じた役割を果たしつつ、感染症や自然災害の危機をしなやかにかわしながら、豊かな自然を享受し、生き生きと幸せな日常を送っている。



基本方針 人口減少・超高齢社会を受け止める

- ① 多様な価値観を認め合い、地域を開く。
- ② 美しい農村景観を砦として守り抜く。

しきしまのこれからの人生モデル

これまでの人生

3ステージモデル 同世代で一斉行進。引退期は「老後」を送る人生。



これからの人生

生涯現役・幸福持続化モデル 生涯学び、多様な仕事に就き、次世代のために生きる人生。



基本方針

住民の意思を尊重した組織の再編

- ③ 町内会の統廃合は、歴史の重みを踏まえ、住民の意思に寄り添う。
- ④ 自治区は、行政との共働を念頭に、効果的な規模への再編を検討する。
- ⑤ 自治区は、企業やテーマ型活動団体と効果的につながる仕組みづくりに努める。



基本方針

「関係人口」を自治の担い手に

⑥ 「関係人口」と共に地域課題の解決を図る。

都市とつながる今後の山村自治のイメージ

これまで

地域自治=住民自治

地域住民が主体性を持って自立し、
地域課題を解決

これから

地域自治=関係自治

地域住民と関係人口[※]が共に自治の
主体となって地域課題を解決



※ 関係人口：都市に居住しながら山村地域の課題解決に積極的に関わる人

行動指針 「しきしまの家」を拠点として生かす

- ① 行催事・会議は、スリム化に努めつつ、新たな課題に対しては新規に取り組む。
- ② 多くの住民が楽しく参画できる役職のあり方をめざす。
- ③ 「しきしまの家」を、自治区事務所と位置づけるほか、活動の拠点、プラットフォームとして生かす。



行動指針 実働的な「地域運営組織」を設ける

④ 必要な組織再編、経営的手法による課題解決。

地域運営組織「しきしまの家」イメージ図

経営的手法で地域課題を
解決する2階を増築

自治区の方針に基づき、経営的な観点や
手法で具体的に事業を実施する。

方針

地域課題を協議、方針を定め行政と共働
して実践する。

2階 しきしまの家(非営利法人)

支え合いプロジェクト事務局

農地保全プロジェクト事務局

しきしま活動団体プラットフォーム

関係人口とつながる
テーマ別の活動団体、
都市部企業など

1階 秋島自治区(任意団体)

定住促進部

環境保全部

福祉健康部

次世代育成部

安心安全部

広報部

分野横断重点プロジェクト推進チーム

町内会、
農事組合など
地域的団体

- ⑤ デジタル技術を活用して都市とつながる。
- ⑥ 多様な価値観を認め、価値観の違いから生じる課題から目を背けない。
- ⑦ 感染症や自然災害など様々な危機に対して、自治区への対応方針を明確にして、混乱を回避する。
- ⑧ 古文書など歴史資源のデジタル保存に努める。



提言の活用、自治区民への周知

■ 提言の活用

- ① 提言の行動指針に沿って、できることから改革に取り組みます。
- ② 24年度策定の「しきしま♡ときめきプラン2025」に提言を反映します。

■ 自治区民への周知

- ① 支え合いシステム中間報告会（12/2予定）において、概要説明を行います。
- ② しきしまの家通信などで提言の要旨を紹介します。



貞観杉のつぶやき 抜粋

しきしまの里の人々が描く未来

それは、美しい田園風景のある里
それは、あるがままの自分で居られる里
それは、不安のない暮らしが続く里
それは、小さな生業が芽吹く里
それは、子どもたちの瞳が輝いている里
それは、お年寄りが笑顔で暮らす里
それは、しきしまを愛するすべての人々
による、新たな自治が営まれる里

しきしまが一つになって未来を拓こう



しきしまの家

自給家族

しきしまの家・自給家族を募集します